

原爆を記憶する

～「文化・メディア・教育」の可能性～

①原爆と文化 11月21日(木)14:25~15:55

<講演タイトル>

「Year Zero: American Nuclear Culture
During the Early Cold War」



講師：ロバート・ジェイコブズ教授 (広島市立大学・広島平和研究所)

広島を拠点に世界の核被害者をつなぐ米国人研究者。核テクノロジー問題の広範囲なフィールドワークに取り組み、近年は高レベル核廃棄物の長期保存がもたらす問題点に焦点を当てた活動を行う。

場所：神戸市外国語大学 第2学舎 2階 503教室

②原爆とメディア 12月12日(木)14:25~15:55

<講演タイトル>

「メディアは原爆をどう伝えるか？」

講師：山登義明氏(元NHKエグゼクティブプロデューサー)

数々のドキュメンタリー番組を制作。1986年NHK特集「黒い雨～広島・長崎原爆の謎～」で地方の時代映像特別賞(平和賞)、ギャラクシー奨励賞受賞を受賞。ドキュメンタリー番組の制作に関する著作も出版。



米軍撮影 広島平和資料館提供

場所：神戸市外国語大学 三木記念会館

③原爆と教育 2020年1月14日(火)16:05~17:35

<講演タイトル>

「厄災を表現すること～

『原爆の絵』プロジェクトにおける

コミュニケーション的記憶と文化的記憶～」

講師：山名淳教授(東京大学)

災害や厄災の記憶の伝承をめぐる問題に取り組む研究者。次の世代へ負の出来事をどのように伝えるのか、教育という領域においていかなる可能性があるのか。その課題について新たな理論構築と実践を目指す。

また記憶空間としての広島平和記念資料館について注目し、数多くの論文を執筆。現在は「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトの持つ意味について考察を進め、「集合的記憶」の多様な問題に取り組む世界的な学会で発信している。



場所：神戸市外国語大学 第2学舎1階 501教室 ※各回の教室は変更になる可能性もあります。

神戸市外国語大学魅力発信事業とは

本学は、現代社会の要請に応じた高度な外国語運用能力を備え、国際的な知識と柔軟な判断力を持った、ビジネス・外交・教育など様々な分野で活躍できる人材の養成や、市民向けのセミナー、ボランティアなどの地域貢献や国際交流活動、小中高校における外国語教育や国際理解教育へのサポートなど、公立大学法人として幅広い活動を展開しています。こうした学生、教員が行う様々な有意義な活動について、さらなる発展・拡充を図り、広く社会に魅力を発信するため本学が支援を行っている事業です。

アクセス

神戸市営地下鉄 西神・山手線
学園都市駅 徒歩すぐ

